

1. 申請概要

地域医療支援病院の承認申請について

医療法第4条の規定に基づき地域医療支援病院の承認申請を予定する医療機関

※令和6年4月1日現在

(1) 概 要

フリガナ	チホド クリヅィ ヨウセイホウジンオオサカフリヅィ ヨウインキョウ オオサカボシリョウセンター
名称	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
所在地	大阪府和泉市室堂町 840 番地
開設者	地方独立行政法人大阪府立病院機構 理事長 遠山 正彌
管理者	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 総長 倉智 博久
開設年月日	平成 18 年 4 月 1 日（知事開設年月日 昭和 56 年 10 月 1 日）
病床数	一般 375 床
診療科目	◎小児科、内科、精神科、神経内科、循環器内科、整形外科、形成外科、 眼科、脳神経外科、心臓血管外科、◎小児外科、泌尿器科、産科、婦人科、 放射線科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、矯正歯科、 救急 ◎固定通年制 医療 ○非通年制 体制 △輪番制 麻酔科、病理診断科

(2) 沿 革

1981 年 10 月	センター開院、診療開始 70 床
1982 年 5 月	先天性代謝異常検査事業開始
1987 年 4 月	OGCS（産婦人科診療相互援助システム）稼働
1991 年 7 月	小児医療部門外来・入院診療開始 270 床、研究所開設 WHO Collaborating Centre 認定
1999 年 11 月	総合周産期母子医療センター（大阪府）認定
2006 年 4 月	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立母子保健総合医療センターに移行
2007 年 7 月	治験拠点医療機関に決定
2007 年 10 月	地域医療連携室発足
2009 年 9 月	電子カルテ導入
2010 年 6 月	産科セミオープンシステム開始
2017 年 4 月	大阪母子医療センターに名称変更
2018 年 11 月	小児救命救急センターに認定
2020 年 12 月	二次救急告示医療機関に認定
2022 年 4 月	泉州地域「小児救急輪番制」に参画
～ 現在に至る	

病院名(正式名称)	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
病院所在地	大阪府和泉市室堂町840
開設者	地方独立行政法人大阪府立病院機構 理事長 遠山 正彌
開設者所在地	大阪府中央区大手前3丁目1-69

「地域医療支援病院」承認要件一覧

承認要件				記入欄(記入例)			
許可病床数				375床			
施設設備	集中治療室	病床数		12床			
		主な設備		心電計、除細動器、酸素吸入装置、人工呼吸器、人工心肺装置 等			
	新生児集中治療室 (NICU)	病床数		21床			
		主な設備		ベッドサイドモニター、閉鎖型保育器、新生児用人工呼吸器 等			
	母体胎児集中治療室 (MFICU)	病床数		9床			
		主な設備		分娩監視装置、呼吸循環監視装置、超音波診断装置 等			
	化学検査室	主な設備		血液・尿検査システム、遠心型血液成分分離装置、全自動輸血検査システム、生化学免疫検査システム 等			
	細菌検査室	主な設備		微生物感受性分析装置、全自動血液培養検査装置、リアルタイム濁度測定装置、システム生物顕微鏡、等			
	病理検査室	主な設備		アミノ酸分析計機器、密閉式自動固定包埋装置、顕微鏡デジタルカメラ 等			
	病理解剖室	主な設備		超低温フリーザー 等			
	研究室	主な設備		質量分析装置、全自動細胞解析システム、バイオ・イメージングシステム 等			
	講義室	室数	(室)	3		(室)	
		収容定員	(人)	140		(人)	
	図書室	室数	(室)	1		(室)	
		蔵書数 等		13,160冊			
	救急用自動車	保有台数	(台)	1		(台)	
主な設備			酸素ボンベ、保育器、人工呼吸器、モニター等				
医薬品情報管理室	専用・共用		専用				
	床面積	(㎡)	40.67		(㎡)		
紹介率・逆紹介率				昨年度実績		今年度実績(4月～12月参考値)	
紹介率 (①／⑥) × 100 (%)				72.6	(%)	72.6	(%)
逆紹介率 (⑦／⑤) × 100 (%)				41.4	(%)	42.6	(%)
上記の算出根拠	初診患者数	紹介患者数	①	5,103	(人)	3,768	(人)
		初診患者総数	②	7,689	(人)	5,660	(人)
		②のうち、救急搬入患者数	③	264	(人)	153	(人)
		②のうち、休日・夜間の患者数	④	400	(人)	322	(人)
		②のうち、健康診断の受診から要治療となって治療を開始した患者数	⑤	0	(人)	0	(人)
		差し引き ②-③-④- ⑤	⑥	7,025	(人)	5,185	(人)
		逆紹介患者数	⑦	2,912	(人)	2,212	(人)
共同利用の実績	前年度共同利用を行った医療機関延べ数		142		(件)		
	うち直接関係のない医療機関延べ数		142		(件)		
	共同利用に係る病床の利用率		0		(%)		
	開放型病院共同診療管理料		0		(件)		
共同利用の範囲	建物の全部・一部		一部				
	開放型病床数		1		(床)		
	規定の有無		有り				
開設者と直接関係のない登録医療機関数				404		(件)	
救急医療を提供する能力	医療従事者 (常時最低確保数)	医師		常勤専従5人			
		看護師		常勤専従13人			
		診療放射線技師		常勤非専従1人			
		臨床検査技師		常勤非専従2人			
		薬剤師		常勤非専従1人			
		臨床工学技士		常勤非専従1人			
	病床の確保状況	優先病床数		1		(床)	
		専用病床数				(床)	
地域の医療従事者に対する研修機能	救急用診療施設・設備		ICU、NICU、MFICU、初療室、検査室、放射線撮影				
	前年度の研修者数		1,105		(人)		
	研修プログラムの有無		有り				
	研修委員会の有無		有り				
	研修指導者数		21		(人)		
診療に関する諸記録及び管理・運営に係る諸記録の管理方法	研修実施のための施設・設備		中央会議室、研究棟会議室(小)(大)				
	診療に関する諸記録		カルテ保管庫(紙媒体)、サーバー室(総合診療情報システム)				
	共同利用の実績		患者支援センター				
	救急医療の提供の実績		事務局(医事グループ)				
	地域の医療従事者のための研修の実績		患者支援センター				
	諸記録の閲覧の実績		診療情報管理室、事務局(医事グループ)				
患者紹介の実績				事務局(医事グループ)			
患者相談体制の整備				看護師2名、社会福祉士7名、計9人体制			
地域医療支援病院運営委員会				規程あり			
居宅等医療提供施設等への支援				平成26年～在宅後方支援病院			
備考				・「小児救命救急センター」認定(平成30年11月) ・「二次救急告示医療機関」認定(令和2年12月) ・「泉州地域小児救急輪番制」に参画(令和4年4月～)			

大阪府泉州保健医療協議会
2025.2.14 テクスピア大阪

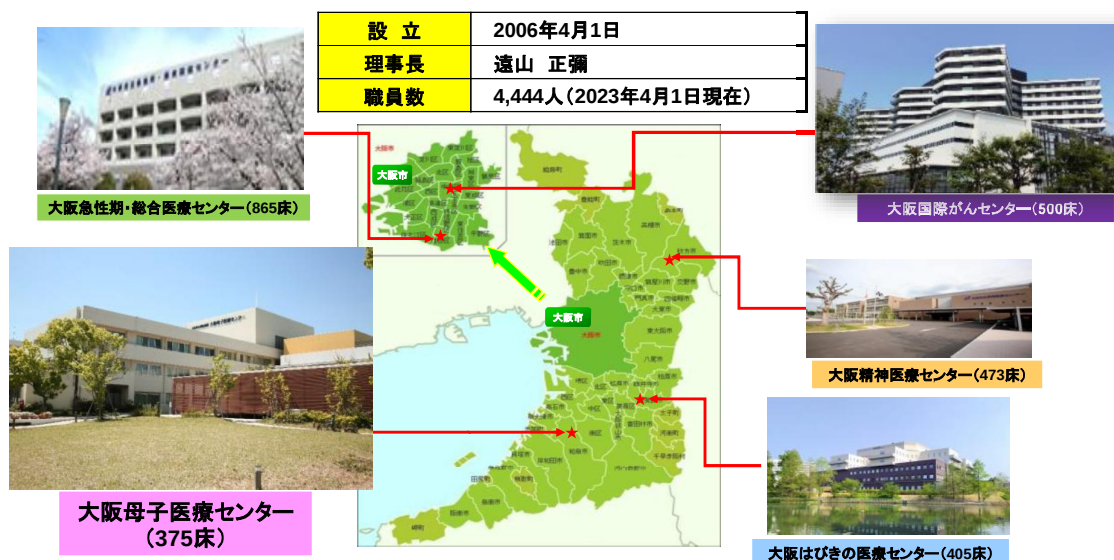
母と子、そして家族が 笑顔になれるよう

～大阪母子医療センター～



1

地方独立行政法人大阪府立病院機構（5病院）



2

◆当センターの沿革・概要



— 全国で初の周産期医療の基幹病院として大阪府に開設 —

- ・ **1981** **母子保健総合医療センター開院(周産期部門)**
- ・ 1986 昭和天皇行幸の栄に浴す
- ・ 1990 天皇皇后両陛下（現上皇・上皇后）行幸の栄に浴す
- ・ **1991** **小児医療部門・研究所開設**
- ・ **1999** **総合周産期母子医療センター(府内6施設・大阪府最初の認定)**
- ・ 2003 皇太子同妃両殿下（今上天皇・皇后）の行啓
- ・ **2018** **小児救命救急センター認定(府内3施設)**
- ・ **2022** **小児中核病院(府内8施設)**

3

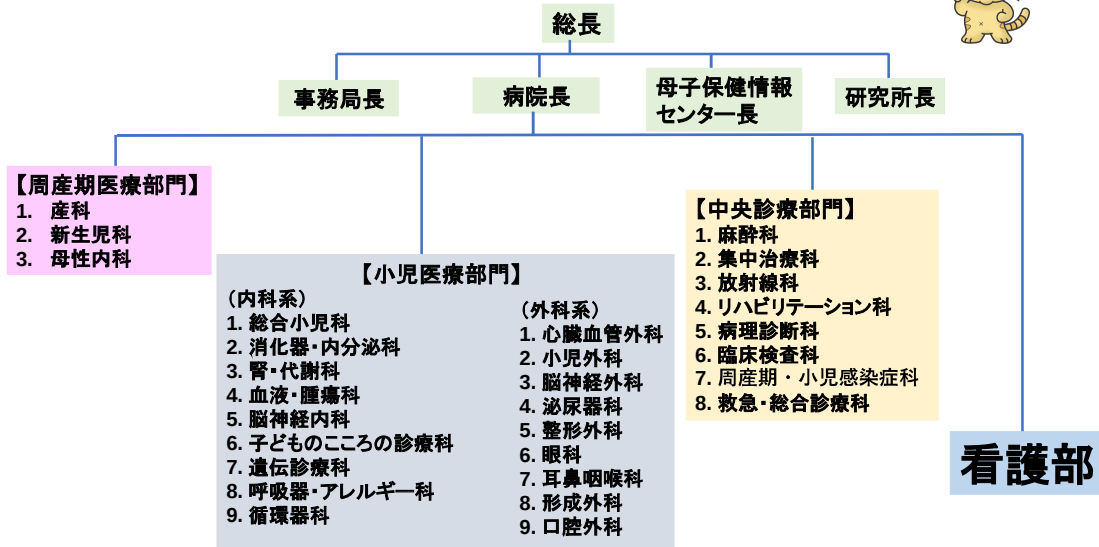
◆病床数・患者数など

府内唯一の周産期・小児医療の専門病院です

◎病床数 許可病床数 375床 ◎外来患者数(2023年度) ・延べ外来患者数 174,350人 ・1日平均外来患者数 717.5人 ◎入院患者数(2023年度) ・年間新入院患者数 11,717人 ・一日平均入院患者数 32.0人	産科90床 うち母体・胎児集中治療室 (MFICU) 9床 新生児51床 うち新生児集中治療室 (NICU) 21床 小児222床 うち特定集中治療室 (PICU) 12床 
--	---

4

◆当センターの組織体制



5

国際的なランキング- Newsweek誌(2024.9.17号)での評価

全世界の"Pediatrics"(小児)部門で

国立成育医療研究センター(42位)
 神奈川県立こども医療センター(70位)
 東大病院(117位)
 東京都立小児総合医療センター(122位)
当センター(125位)
 阪大病院(128位)

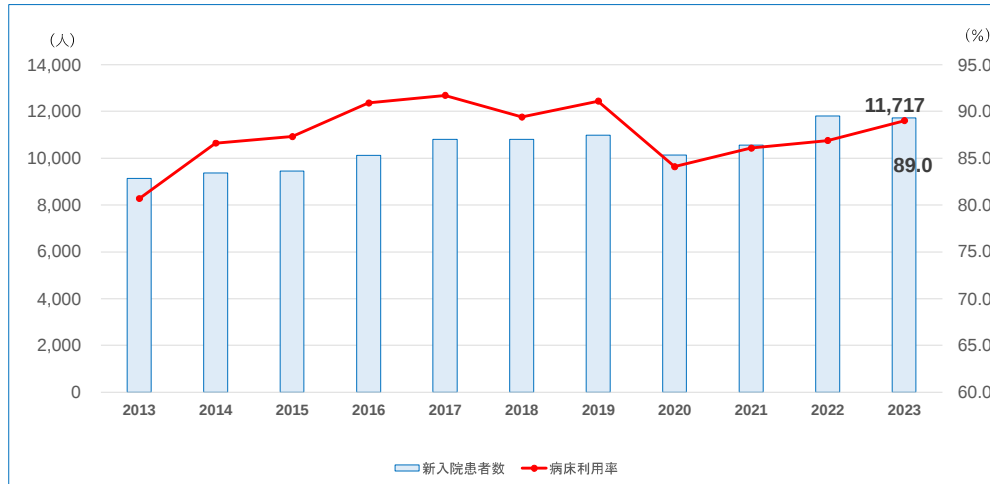


全国の子ども病院の中での立ち位置(病床数・分娩数比較)

施設名	大阪 母子医療センター	福岡市立 こども病院	神奈川県立 こども医療センター	成育医療センター	兵庫県立 こども病院	埼玉県立 小児医療センター
稼働病床数	343	239	329	477	275	316
分娩件数 (2022年度)	1,894	306	429	2,106	214	—

6

◆年度別病床利用率と新入院患者数の推移

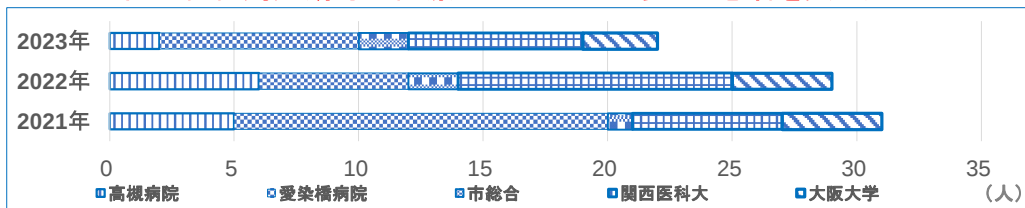


出典：日本小児総合医療施設協議会(JACHRI, 2021)および各病院年報

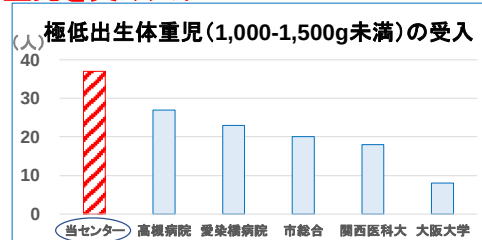
7

◆府内随一の総合周産期母子医療センターです

他の総合周産期母子医療センターからも多くの患者を受け入れ



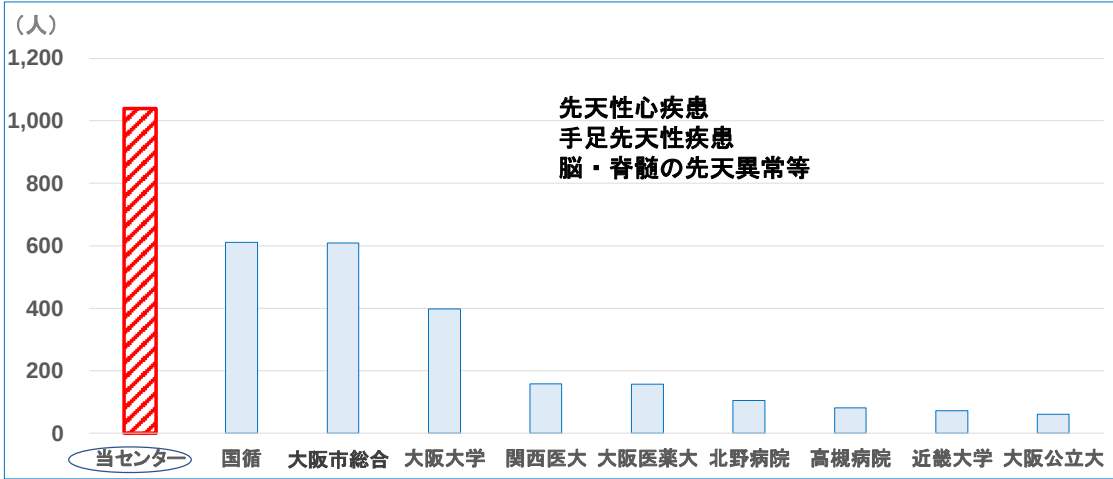
府内で最多の低出生体重児を受け入れ



出典：令和2年度大阪府周産期医療協議会 資料

8

◆難治性小児疾患の受け入れは大阪府内トップ



出典:令和4年度 中央社会保険医療協議会(DPC評価分科会)資料を基に作成

9

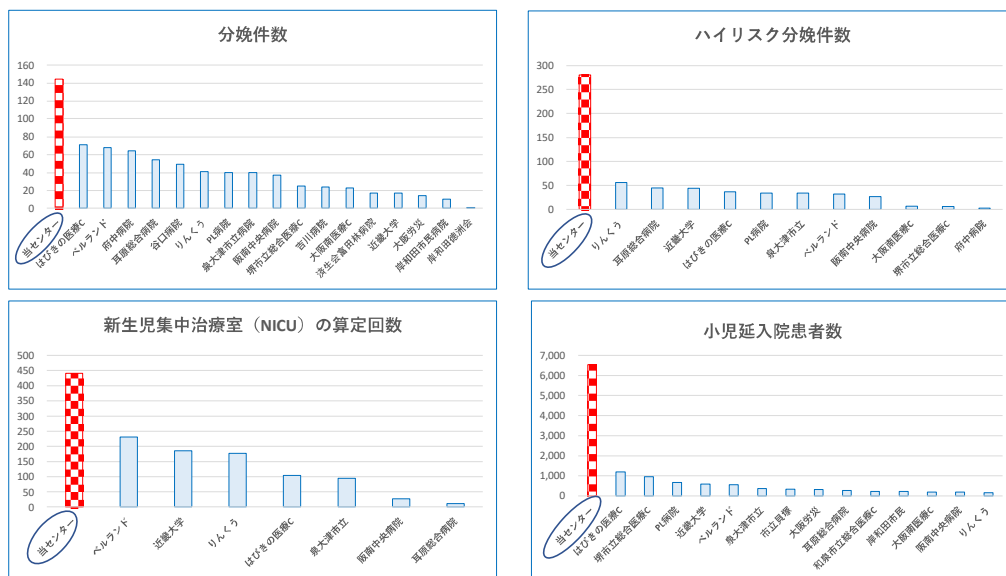
◆府内で最も多くの小児コロナ患者を受け入れ

病院名	種類	軽症中等症	重症
大阪母子医療センター	小児中核	159	58
市立ひらかた病院	小児地域医療C	145	0
堺市立総合医療センター	小児地域医療C	120	2
大阪旭こども病院	小児地域医療C	115	0
愛仁会高槻病院	小児地域医療C	89	0
東大阪医療センター	小児地域医療C	75	0
大阪市立総合医療センター	小児中核	69	3
市立豊中病院	小児地域医療C	53	0
大阪はびきの医療センター	小児地域医療C	49	0
PL病院	小児地域医療C	46	0
星ヶ丘医療センター	小児地域医療C	39	0
大阪赤十字病院	小児地域医療C	34	0
ベルランド総合病院	小児地域医療C	29	0
大阪府済生会 吹田病院	小児地域医療C	25	0
大阪病院	小児地域医療C	24	0
北野病院	小児中核	22	1
大阪大学医学部付属病院	小児中核	0	2
近畿大学病院	小児中核	0	3

出展:大阪府転退院サポートセンター調査

10

◆南大阪地域（堺・泉州・南河内）での実績



出典：大阪府公表データ（2023年6月実績）

11

◆当センターの役割

- ・研究所併設の強みも活かし、全国トップクラスの周産期・小児の高度医療・研究機関の責務を果たす
- ・地域のニーズに応えた幅広い周産期小児医療の提供

南大阪医療圏で唯一の総合周産期母子医療センター・小児の基幹施設としての機能を維持する

12

◆地域医療連携に関する提供状況

□ 連携登録医療機関数 **404医療機関** (2024年9月末現在)

□ 紹介率 (承認要件 65%)

2023年度	2024年度 (12月末まで)
72.6%	72.6%

➢ 産科において、ローリスクの妊婦さんを「紹介状なし」で積極的に受け入れている

□ 逆紹介率 (承認要件 40%)

2023年度	2024年度 (12月末まで)
41.4%	42.6%

➢ こども病院における「逆紹介率」は低い傾向

医療機関名	逆紹介率
東京都立小児総合医療センター	33.6%
埼玉県立小児医療センター	43.6%
あいち小児保健医療総合センター	45.7%

13

◆救急搬送件数 (年度別)

2018年11月

「小児救命救急センター」認定

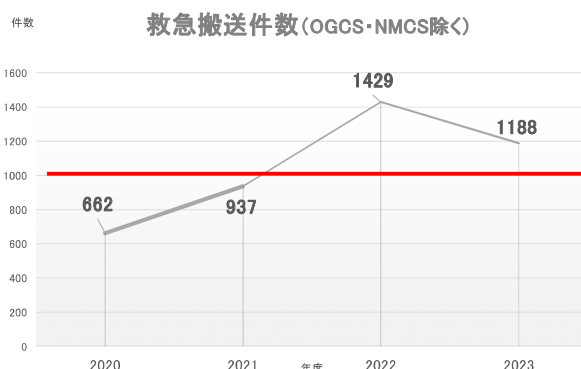
2020年12月

「二次救急告示医療機関」認定

2022年 4月

「泉州地域小児救急輪番制」に参画

年度	件数
2020年度	662
2021年度	934
2022年度	1,429
2023年度	1,188
2024年度 ※12月末まで (年度末予測)	819 (1,100)



14

◆ 地域医療従事者研修(2023年度) 参加者合計：1,105名

● 学術講演会 1回

日程	テーマ	参加者 ／院内	参加者 ／院外
12月16日	“つながる”胎児エコーみらいの会 第50回記念講演会 胎児・新生児心エコーの見方／成人先天性心疾患を持つ妊婦の管理	50名	159名

● 症例検討会(計8回) 【参加者】 院内／ 75名 院外／504名

● その他 【参加者】 院内／105名 院外／212名

- ・ イブニングセミナー (計9回)
- ・ 薬薬連携研修会 (計2回)
- ・ 小児造血幹細胞移植看護について考える

15



16